

代表理事挨拶

研究会の会員の皆様、ならびに生田コース受講の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、国際歯周内科学研究会の発展のためにお力をいただき本当にありがとうございました。

今春の保険改訂では歯科は 2.09%のプラス改訂になるようですが、どのような点数配分になるのかはまだわかりません。私たちはエビデンスのある検査や院内感染防止対策に点数が配分されることを期待しています。しかし、日本の政治経済の状況では、保険治療が益々充実していくことはほぼ困難な状況にあると思われます。いつ、どのような状況になろうとも歯科医院経営が万全であるためには保険治療と自費治療のどちらもがバランスよく行えることが非常に重要であると思いますし、徐々に自費治療の比率を上げていくことも必要であろうと思われます。

私たちが得ている情報では、日本歯周病学会も厚生労働省も、リアルタイム PCR 法による歯周病診断を保険償還する方向で動いているという話です。このことは非常に喜ばしいことであると思います。国際歯周内科学研究会でもリアルタイム PCR 機器を導入し、試験的に運用を開始し、データの集積を行っているところです。

4月の総会では私とそのデータに関して学術的な面と経済的な面の両面から発表を行う予定にしておりますのでご期待ください。

さて、私たち理事一同は、先生方のご期待に添えるように昨年も精力的に活動を行いました。11月12日には日本歯科医学会会長の江藤洋一先生と懇談し、これからの活動に関して重要なご提案をいただきました。また、11月23日には愛知県選出で民主党の鈴木克昌代議士に歯周内科治療の保険償還の陳情を行い、さらに12月2日には日本歯科医師会の久保会長に面会を果たし、歯周内科治療の有益性と、保険償還のお願いをすることができました。一気に保険に償還される可能性は低いですが、様々な運動を行い、歯周内科の保険償還を目指して活動を続けていきたいと思っております。

また、ジスロマックに関しては日本歯周病学会の活動から、慢性歯周病治療薬としての保険償還は比較的早期に実現するのではないかという感触を得ています。そのため、ジスロマックの保険償還に関しては日本歯科医学会・日本歯周病学会にお任せしたいと思います。

そして、国際歯周内科学研究会としては当初からの研究テーマである歯周病に対しての真菌の関与の解明を今後の最大の課題として医科とのコラボレーションによる研究活動を強化していきたいと思っております。

今後も国際歯周内科学研究会は学術と経営をバランスよく重視して活動を継続いたします。先生方の経営のお役に立つような情報提供活動の継続を一番の目標として活動いたします。是非、今までと変わらない先生方のご支援をいただきますようお願いいたします。

今回の配布物

研究会会員

- ① 総会案内書・申込書
- ② 総会前日経営セミナー案内書
- ③ 認定セミナー案内
(生田・福重・塚本・津島・岡部・花田・松本)
- ④ 推薦セミナー案内
泉谷先生咬合セミナー
鷺沢先生 IT セミナー
- ⑤ トレポネーマ論文和訳2編
- ⑥ 研究会会員名簿
- ⑦ 日本ブライダルセンターデモ申込書
- ⑧ 床矯正注文書

生田コース受講者・非会員

- ① 総会案内書・申込書
- ② 認定セミナー案内
(生田・福重・塚本・津島・岡部・花田・松本)
- ③ 推薦セミナー案内
泉谷先生咬合セミナー
鷺沢先生 IT セミナー